

## 中央材料室の仕事

中央材料室の主な仕事は、病院内で洗浄・点検・滅菌です。手術のみならず院内で使用した全ての器材は、中央材料室で洗浄包装、滅菌されて各部署に払い出されていきます。中央材料室は裏方仕事ではありますが、病院内の感染防止の役割を担っております。縁の下の力持ちとして支えています。

滅菌とは全ての微生物を死滅させる処理法で医療や製品の安全性確保に重要です。医療機器や医療材料を滅菌処理して無菌状態を維持しています。

※当院の中央材料室は3種類の滅菌装置で滅菌してします。

### ①高圧蒸気滅菌装置 (AC)

135℃の高圧蒸気で全ての微生物を死滅させます。

### ②エチレンオキシドガス滅菌 (EOG)

酸化エチレンガスを用いて微生物を死滅させます。

### ③過酸化水素ガスプラズマ滅菌 (ST)

過酸化水素ガスプラズマで発生したフリーラジカルで死滅させます。

それぞれの器材の特徴によって①～③の滅菌方法を使い分けています。



## 滅菌条件の確認

確実に滅菌処理された医療機器を供給することは感染対策を実施するうえで重要なことです。

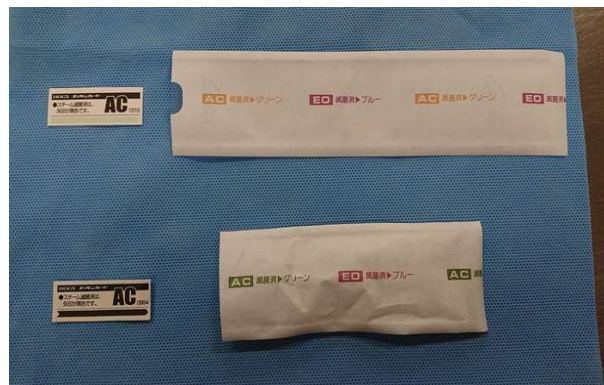
適切な滅菌工程が達成されているか確認するために、滅菌後には物理的パラメーターを確認し、・化学的インジケータと生物学的インジケータを組み合わせる滅菌がきちんとできているか確認をしています。

そして、確実に達成できた物を払い出しています。

生物学的インジケータ



化学的インジケータ



当院の中央材料は2012年から看護部→臨床工学科へ  
手術の安心を支える、臨床工学科の役割

手術で使用した医療器械は、使い終わった後にそのまま保管されるのではなく、次も安全に使用できるように臨床学技士が丁寧に点検・確認を行っています。

手術で使用された器械や機器を一つひとつチェックし、動作や状態に問題がないかを確認したうえで、

再び現場に払い出しています。わずかな異常や劣化も見逃さないよう、注意を払っています。

こうした確認作業は患者さんの目に触れることはありませんが、手術の安全を支える大切な工程です。





## 1日の仕事内容



### 7:30~9:00 器械の運転準備、洗浄

各器械の立ち上げをし、各部署へ使用済みの回収を行う  
回収後滅菌物に合った洗浄を行う  
前日の手術で使用した器械の組み立て、包装  
滅菌物を所定の位置へ戻す、補充など

### 9:00~10:00 病棟・外来物品滅菌、払い出し

洗浄後滅菌物に合った滅菌を行う  
滅菌後は各部署へ払い出し



### 10:00~11:00 朝礼、手術後の洗浄・滅菌

手術で使用した器械の洗浄をし、組み立て、点検、滅菌を行う

### 11:30~13:30 休憩

スタッフ交代で休憩



### 13:30~14:00 外来・病棟への配達

各部署へ滅菌物を配達し不足物は補充する

### 14:00~15:00 手術後の洗浄・滅菌

午前中と同様で手術で使用した器械の洗浄をし、組み立て、点検  
滅菌を行う

### 15:00~16:30 最終滅菌物の滅菌

翌日手術で使用する物品の最終チェックをし滅菌を行う

### 16:30 早出退勤

### 16:30~17:30 各器械の最終チェック

片付けをし翌日の準備をして業務終了

